allcinema

風の舞　闇を拓く光の詩（2003）

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国　日本
色彩　Color
時間　59分
初公開日 2003/11/08
公開情報 共同映画

【キャッチコピー】
聞こえますか
海を隔てた
この想い
断ち切られた
自由と家族の絆

【解説】
　病気に対する誤った認識の下、不当な差別や偏見にさらされ、近年に至るまで人権を無視した生活を強いられてきたハンセン病患者の人々。本作はそんなハンセン病元患者として人生の大半を療養所の中で過ごした詩人・搭和子さんの人生にスポットを当て、搭さんの詩を通してハンセン病強制隔離の歴史を見つめるドキュメンタリー。詩の朗読は女優の吉永小百合が担当。
　1996年にようやく廃止された“らい予防法”。人権を顧みない政策によってハンセン病患者に対する社会の偏見と差別を助長、発病した人々は病気が癒えてなお社会への復帰を許されず、家族との絆さえ断ち切られ、長期にわたって過酷な人生を背負うという悲劇を招いた。詩人の搭和子さんは、13歳で発病し、15歳で瀬戸内海の小さな島、大島青松園に強制的に送られ、以来今日までの57年間をこの島で過ごしてきた。搭さんは、療養所での厳しくつらい生活を、詩作をすることで乗り越えてきた。そして、その魂の詩は読む者に深い感動を与えている。

【クレジット】

監督	宮崎信恵
製作	横川元彦
プロデューサー	宮崎信恵
	山崎定人
撮影	上村四四六
ナレーション	寺田農
詩朗読	吉永小百合

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.